

破天荒

教宣部

4958号

2013年
10月 7日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



やるせない回答

— 少しは期待しましたが… —

先週の金曜日(10/4)に秋闘要求に対する回答団交を開催しました。会長が二代目になり社長が変わっても回答は十年以上同じまま「現状のまま」でした。

総論として

過去からの交渉経過、現在の社会情勢、会社の状況などを勘案し、竹中の労働条件実態と最新資料による世間実態を比較しつつ回答を検討した。

竹中実態は世間より劣っているものもあるし上回っているものもある総じて世間比、遜色ないし現状は維持する。なのでコストアップに繋がる要求には応じられない。

各論について

福利厚生行事に関する補助金年額「ひとり三万円。行事内容は福利厚生運営委員会で検討するが、各社毎の旅行にあて

る。定年再雇用については現行通り「甲種嘱託社員就業規則」の改訂版で運用する。その他改定要求も現行通り。

新規制度化要求についても「必要はない」とのこと。完全週休二日制について、エンジは試験的に就業時間を延長して完全週休二日制を行っているところ。裁判員休暇について、会

りない。「組合の意見」会社トップの考えで、国民の義務を果たそうとする従業員に対し(会社の社会的責任も感じないで)支援することを拒否している。世間の90%以上の企業で制度化され、化学一般でも殆どの企業で制度化されている。

もう笑うしかない

「要求」裁判員(含、補充裁判員、裁判員候補者)に選任され、裁判所に出向く必要がある場合、また裁判に参加する場合には、必要日数・必要時間を有給扱いとすること。

「回答」労働協約129条特別休暇、別表10・5(6)公用休暇を適用し、無給とする。

「会社説明」ノーワーク・ノーペイの考え方に変わ

長から春に何か示してくれる話があったが流れてしまい、結局「働かない者に給料は払えない」とのこと。

やるせない

何時ものことですが回答に熱意が感じられない。思いやりなんて元々ない。説明して理解してもらおうという気も見受けられない。台本の棒読みでした。



ブラック企業

先日、革新・山科の会、山科地区労主催の学習会に参加し、ブラック企業の問題点を学習してきました。

私が学生の頃、日本IBMに工場見学に行き最新の設備に目を白黒させ素晴らしい会社だと良い印象を持っていたあの会社が「ロックアウト解雇？」を行っていたとは…。

ある日Aさんが、上司からミーティングあるので会議室に行く様に指示され、待っていると人事担当者が入ってきて、書面を読み上げ「あなたは、業績が低い状態が続いており…」？渡された書面をみると解雇通知で、解雇予告手当てだけ支払い、8日後の**日付けで解雇する。ただし、2日後の**までに自主退職すれば退職加算金を用意する。

「終業時刻までに私物をまとめて帰れ。明日から出勤禁止だ」。こんな非人道的な解雇があるのか信じられない気持ちでした。

私たちの子供が入社する企業がブラックだったら…、他人事ではない深刻さが伝わってきました。